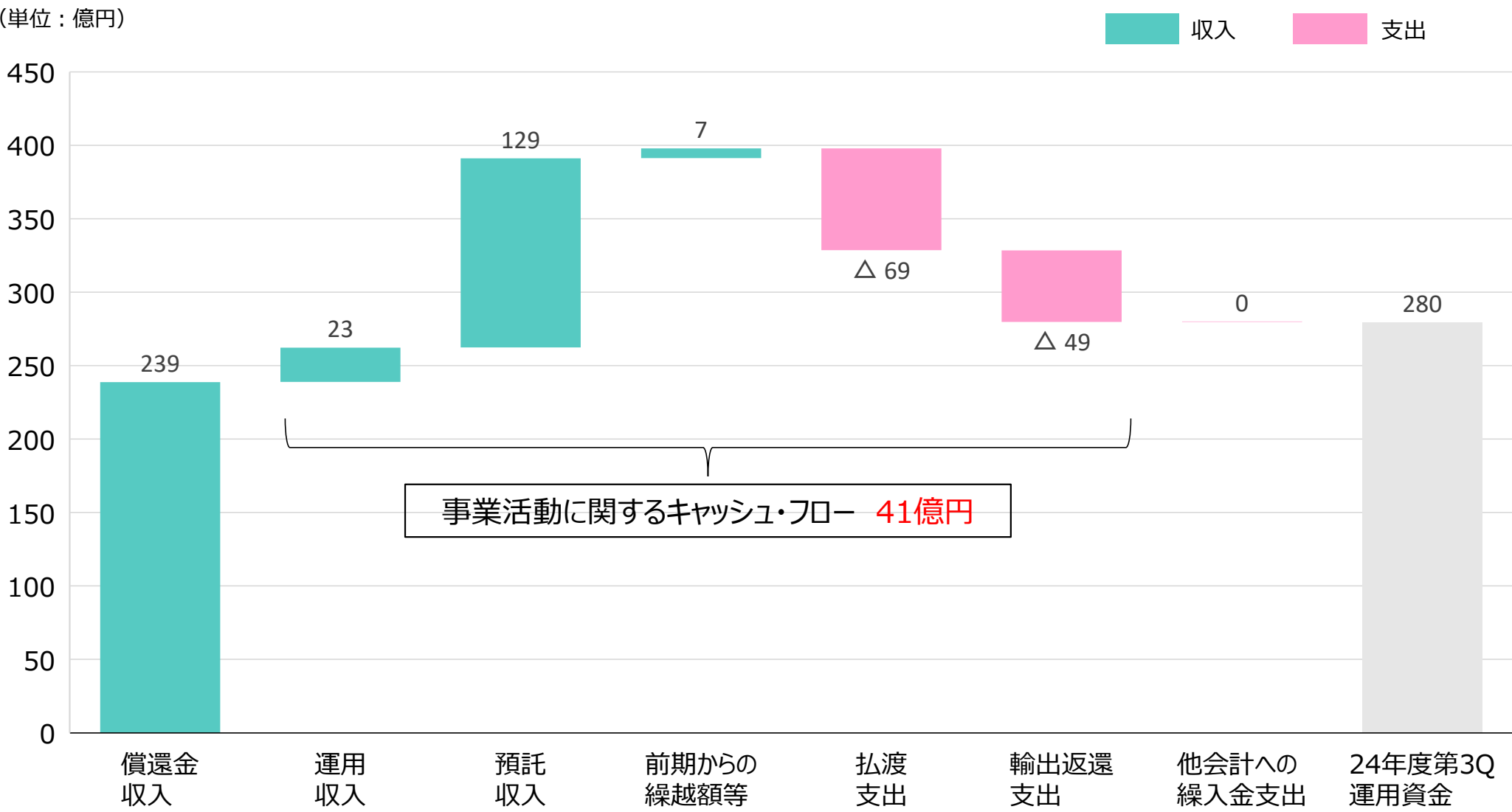


2024年度第3四半期の運用実績 (1) 運用資金

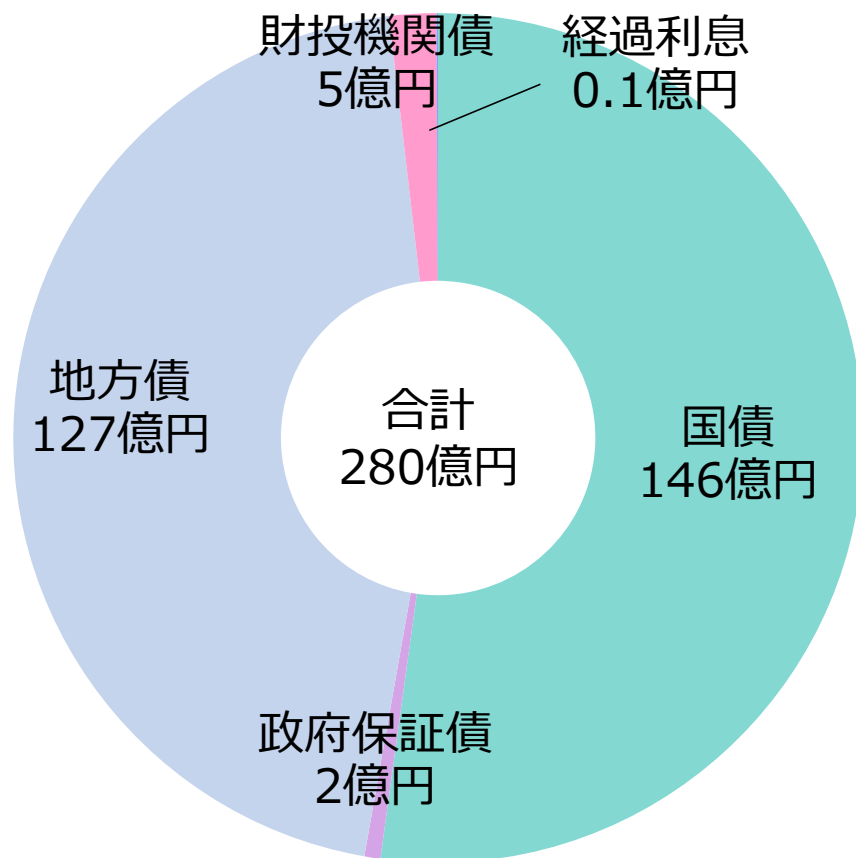
2024年度第3Qの運用資金は280億円（事業活動に関するキャッシュ・フローは41億円のプラス）。



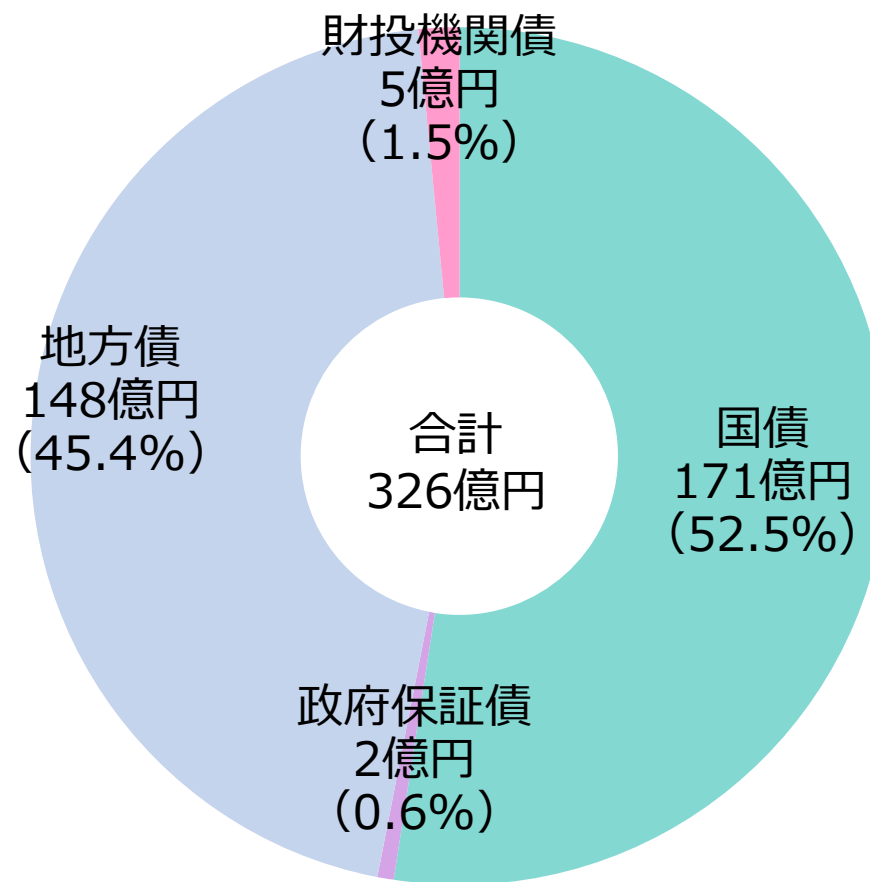
2024年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

2024年度第3Q（10月～12月）は、年限5年、10年、14年、15年の債券を新規に取得（簿価ベース280億円、額面ベース326億円）。

簿価ベース



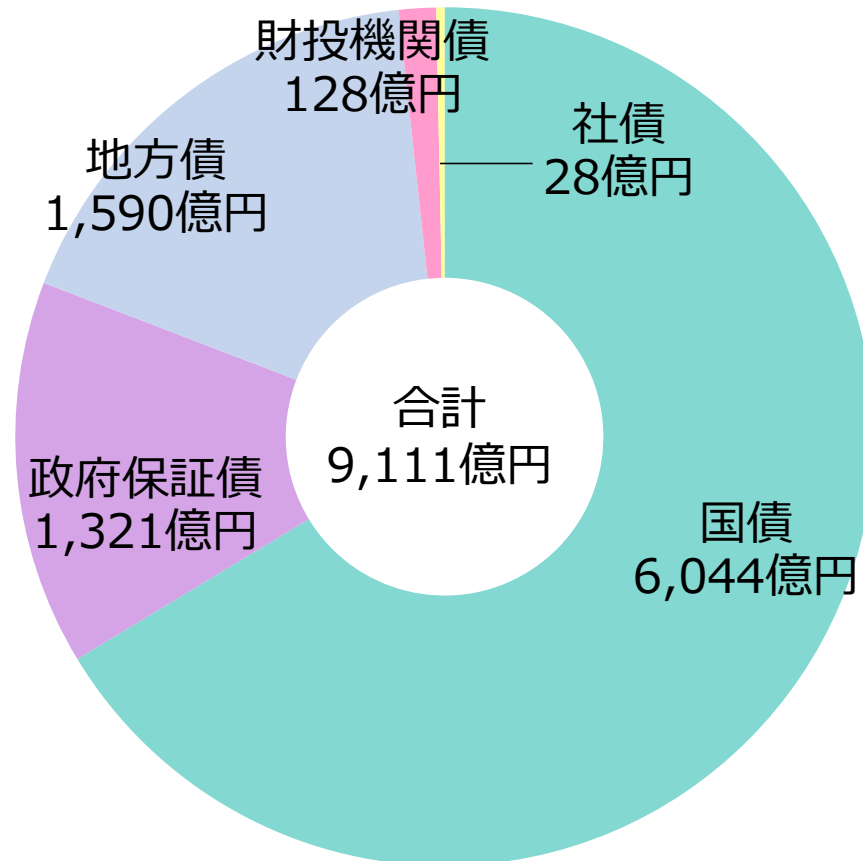
額面ベース



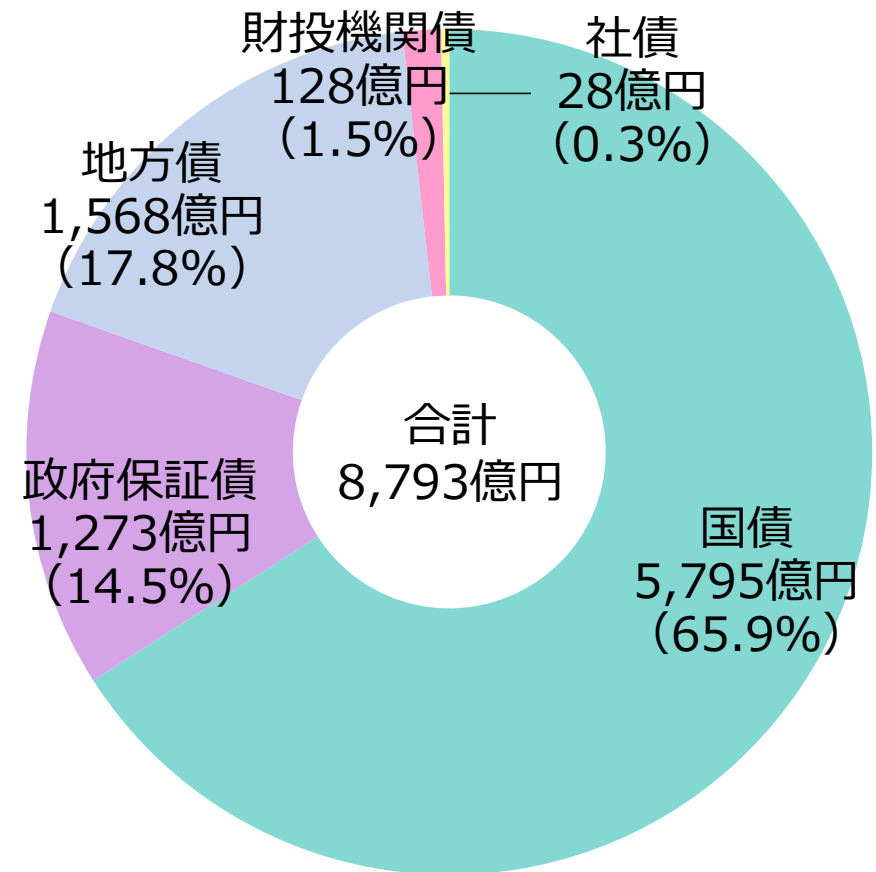
2024年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

2024年度第3Q末における保有債券は額面残高で8,793億円となった。

簿価残高

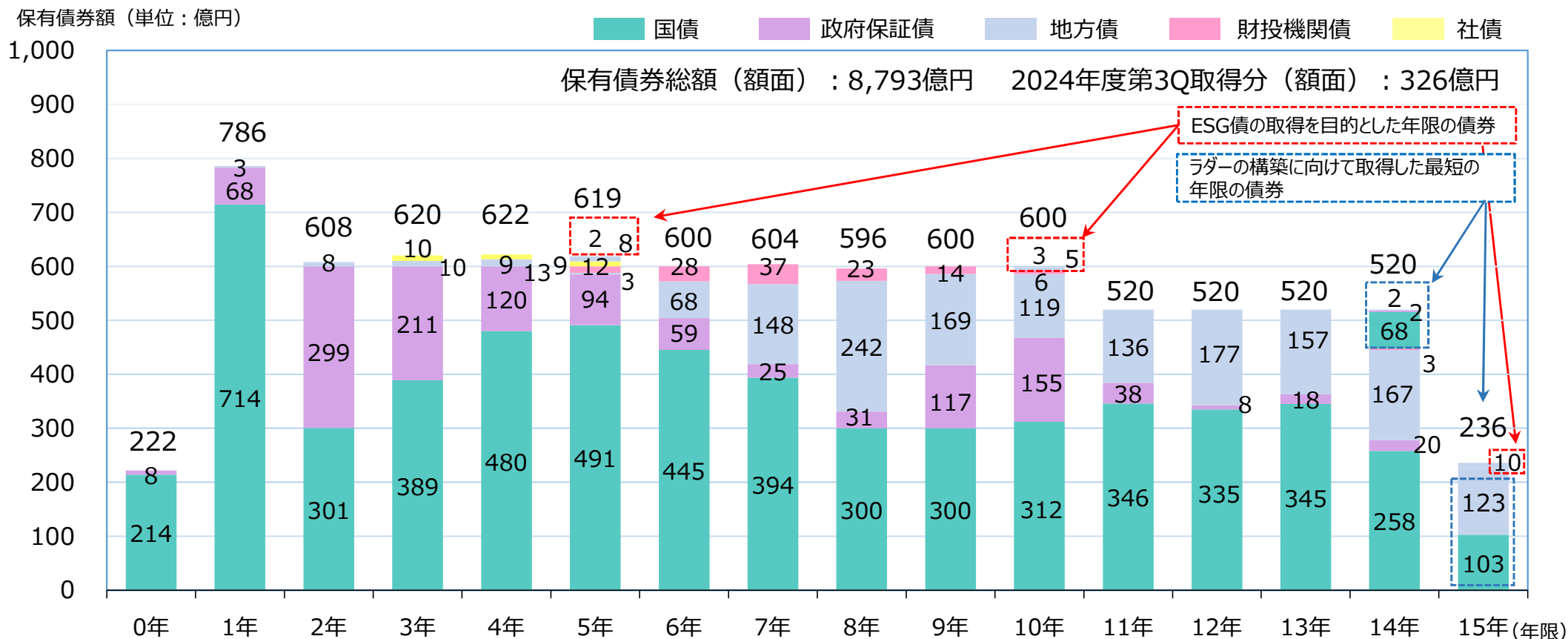


額面残高



2024年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

額面残高8,793億円分の保有債券のラダー型ポートフォリオは、下図のとおり。新規に取得した債券を含め、評価基準に合致。



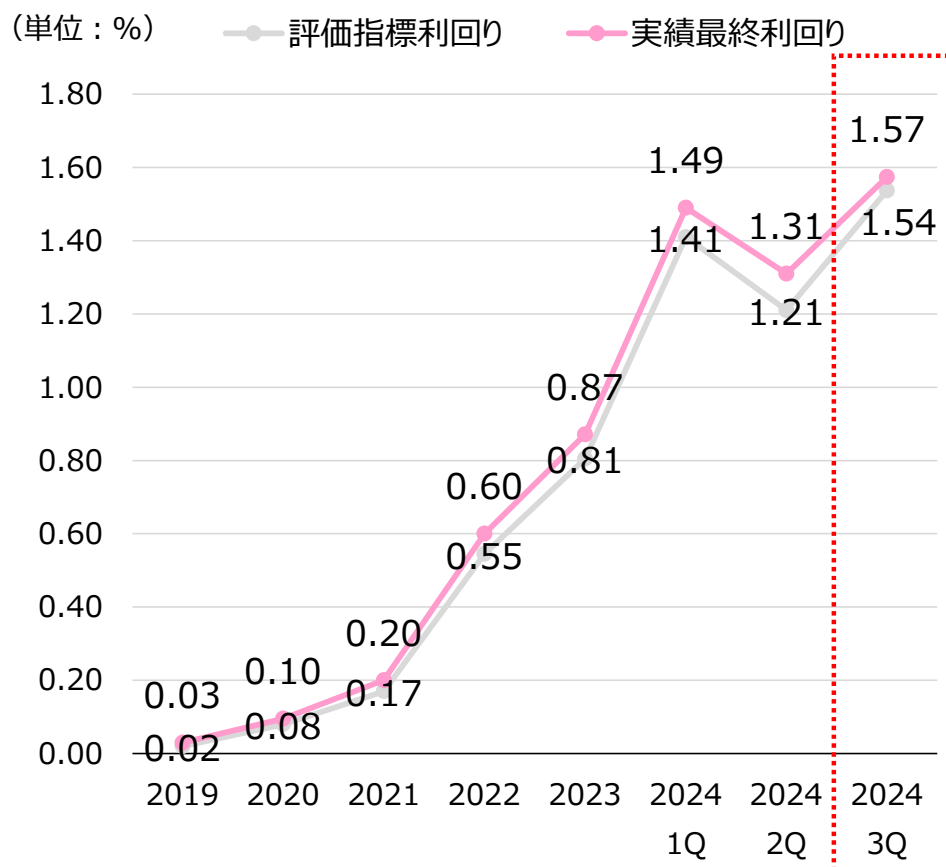
<評価基準>

- ① 年限2年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、許容乖離幅が600億円から±5%の範囲に収まっていること。
- ② 年限2年以降で額面残高600億円程度まで構築した年限において、国債以外の債券の合計額が国債の額を超える場合は、国債の額からの乖離幅が5%以内に収まっていること。
- ③ 財投機関債及び社債の保有上限額（額面ベース）が、ポートフォリオ全体のうち5%を超えていないこと。
- ④ 社債の保有額が財投機関債の保有額を超えていないこと。
- ⑤ 財投機関債の新規取得額面が15億円、社債の新規取得額面が20億円を超えていないこと。

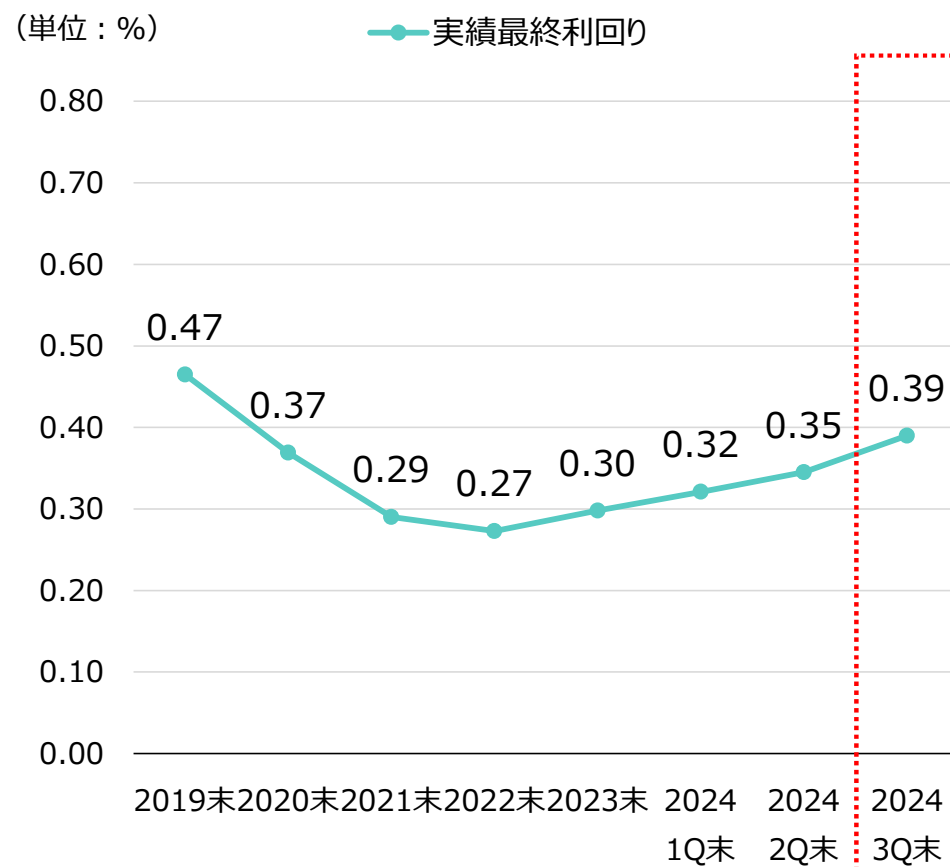
2024年度第3四半期の運用実績 (2) 債券運用の実績

新規取得債券の実績最終利回りは、1.57%となり、評価指標利回り1.54%を上回る結果となった。資産全体の利回りは、第3Q末時点で0.39%となり、2023年度末の利回りを0.09ポイント上回る結果となった。

新規取得債券の利回り



資産全体の利回り



* 「評価指標利回り」とは債券を取得した年限の日々の市場における利付国債の最終利回り（単利）を、年限ごとの債券の取得比率実績により加重平均したもの。

2024年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

2024年度第3QにおいてはESG債を28億円取得。本財団のWebサイトにて投資表明をした債券は下表のとおり。

発行体	沖縄振興開発金融公庫	福井県	札幌市
債券種別	財投機関債	地方債	地方債
ESG種別	サステナビリティボンド	グリーンボンド	グリーンボンド
銘柄名	第33回沖縄振興開発金融公庫債券 (サステナビリティボンド)	福井県令和6年度第6回公募公債 (グリーンボンド)	札幌市令和6年度第6回公募公債 (5年・グリーンボンド)
発行総額	100億円	76億円	70億円
利率	年1.068%	年1.038%	年0.751%
期限	10年（償還日：34年10月20日）	10年（償還日：34年10月25日）	5年（償還日：29年11月26日）
格付	AA+(R&I)	AA+(R&I)	A1(MDY)
適合する 原則等	グリーンボンド原則（ICMA、2021） グリーンボンドガイドライン（環境省、2022） ソーシャルボンド原則（ICMA、2021） サステナビリティボンドガイドライン（ICMA、2021）	グリーンボンド原則（ICMA、2021） グリーンボンドガイドライン（環境省、2022）	グリーンボンド原則（ICMA、2021） グリーンボンドガイドライン（環境省、2022） ソーシャルボンド原則（ICMA、2023） ソーシャルボンドガイドライン（金融庁、2021） サステナビリティボンド・ガイドライン（ICMA、2021）
資金使途 (例)	① 【ソーシャルカテゴリー】産業開発資金、中小企業資金、生業資金、生活衛生資金、農林漁業資金、医療資金、住宅資金 ② 【グリーンカテゴリー】沖縄自立型経済発展、環境・エネルギー対策貸付、赤土等流出防止低利、林業基盤整備資金、省エネ賃貸住宅融資、産業開発資金カーボンニュートラル推進投資利率特例制度 等	① 公共交通機関の車両整備 ② 再生可能エネルギー設備の導入 ③ 港湾地域の脱炭素化 ④ 公共施設等の省エネ化 ⑤ 森林資源の保全・管理 ⑥ 風水害対策 等	① 環境性能を考慮した建築物整備事業 ② 清掃工場整備事業 ③ LED化推進事業 ④ 北海道新幹線建設負担金 ⑤ 治水整備事業 ⑥ バリアフリー化推進事業 ⑦ 学校施設整備事業 等

2024年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

発行体	川崎市	大阪府	愛知県
債券種別	地方債	地方債	地方債
ESG種別	グリーンボンド	グリーンボンド	グリーンボンド
銘柄名	第4回川崎市グリーンボンド5年公募公債	令和6年度第3回大阪府公募公債 (15年) (グリーンボンド)	愛知県令和6年度第14回公募公債 (グリーンボンド・5年)
発行総額	80億円	50億円	100億円
利率	年0.766%	年1.632%	年0.809%
期限	5年 (償還日: 29年9月20日)	15年 (償還日: 39年12月20日)	5年 (償還日: 29年12月20日)
格付	—	—	AA+(R&I)、A+(S&P)
適合する 原則等	グリーンボンド原則 (ICMA、2021) グリーンボンドガイドライン (環境省、2022)	グリーンボンド原則 (ICMA、2021) グリーンボンドガイドライン (環境省、2022)	グリーンボンド原則 (ICMA、2021) グリーンボンドガイドライン (環境省、2022)
資金使途 (例)	① 汚染防止及び抑制 ② グリーンビルディング ③ エネルギー効率 ④ クリーン輸送 ⑤ 気候変動への対応 ⑥ 生物自然資源及び土地利 用に係る環 境持続型管理 ⑦ 汚染防止及び抑制 等	① 老朽化した木津川水門の更新 ② 城北立杭、地下河川の整備 ③ 道路の無電柱化 ④ 公園緑地の創出 ⑤ 大阪モノレールの延伸 ⑥ なにわ筋線の整備 等	① 信号機のLED化 ② 大気汚染監視施設整備 ③ 林道整備 ④ 干潟・浅場・藻場造成、魚礁漁場整備、 増殖場造成、種苗生産施設整備、河川 環境整備 ⑤ 公用車の電動車化 ⑥ 県有施設の新築・改修 ⑦ 河川海岸整備、砂防関係施設整備、農 地防災対策、治山施設等整備 等

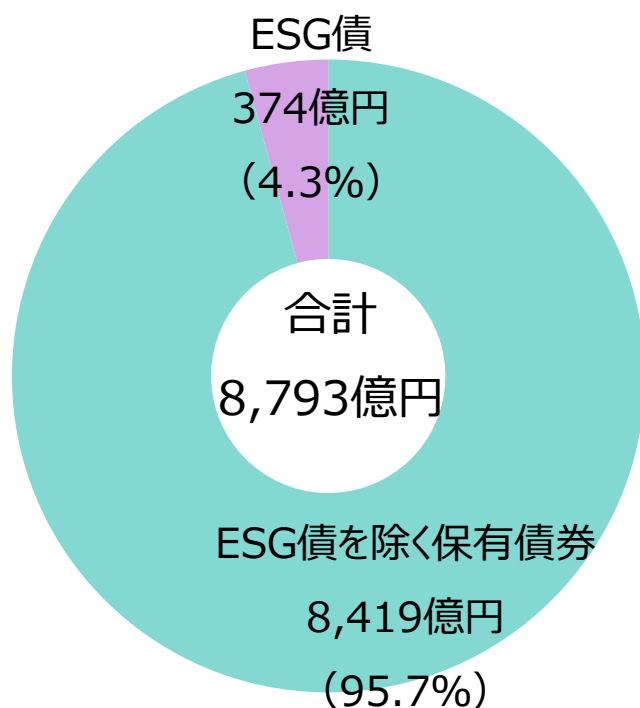
2024年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

発行体	広島県	独立行政法人都市再生機構
債券種別	地方債	財投機関債
ESG種別	グリーンボンド	サステナビリティボンド
銘柄名	広島県令和6年度第5回公募公債 (グリーンボンド・5年)	第200回都市再生債券
発行総額	40億円	100億円
利率	年0.809%	年0.829%
期限	5年(償還日:29年12月17日)	5年(償還日:29年12月20日)
格付	A1(MDY)	AA+(R&I),A1(MDY)
適合する 原則等	グリーンボンド原則(ICMA、2021) グリーンボンドガイドライン(環境省、2022)	グリーンボンド原則(ICMA、2021) グリーンボンドガイドライン(環境省、2022) ソーシャルボンド原則(ICMA、2021) ソーシャルボンドガイドライン(金融庁、2021) サステナビリティボンド・ガイドライン(ICMA、2021)
資金使途 (例)	① 森林整備の推進をはかるために必要な林道の整備 ② 県庁舎及び県有施設の設備の更新・改修 ③ 公用車の電動化 ④ 小水力発電所の設置に対する補助 ⑤ グリーンビルディング ⑥ 河川改修、ため池整備、土砂災害防止施設の整備、高潮に対する海岸保全等	① 自然破壊への対応(防災公園街区整備事業における公園整備、植樹等によるCO2削減、団地再生事業における植樹、樹木の移植保存) ② 地球温暖化対策(市街地再開発事業等における自然エネルギー利用、既存賃貸住宅の複層ガラス化及び潜熱回収型給湯器の設置等)等

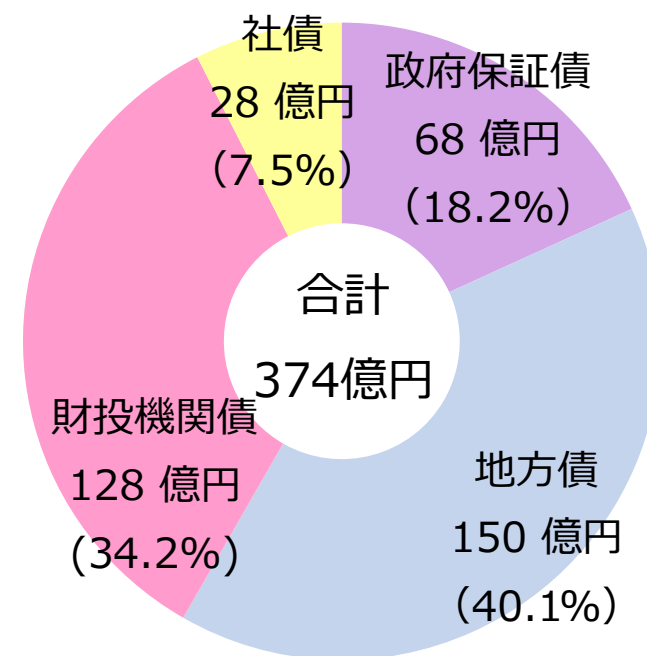
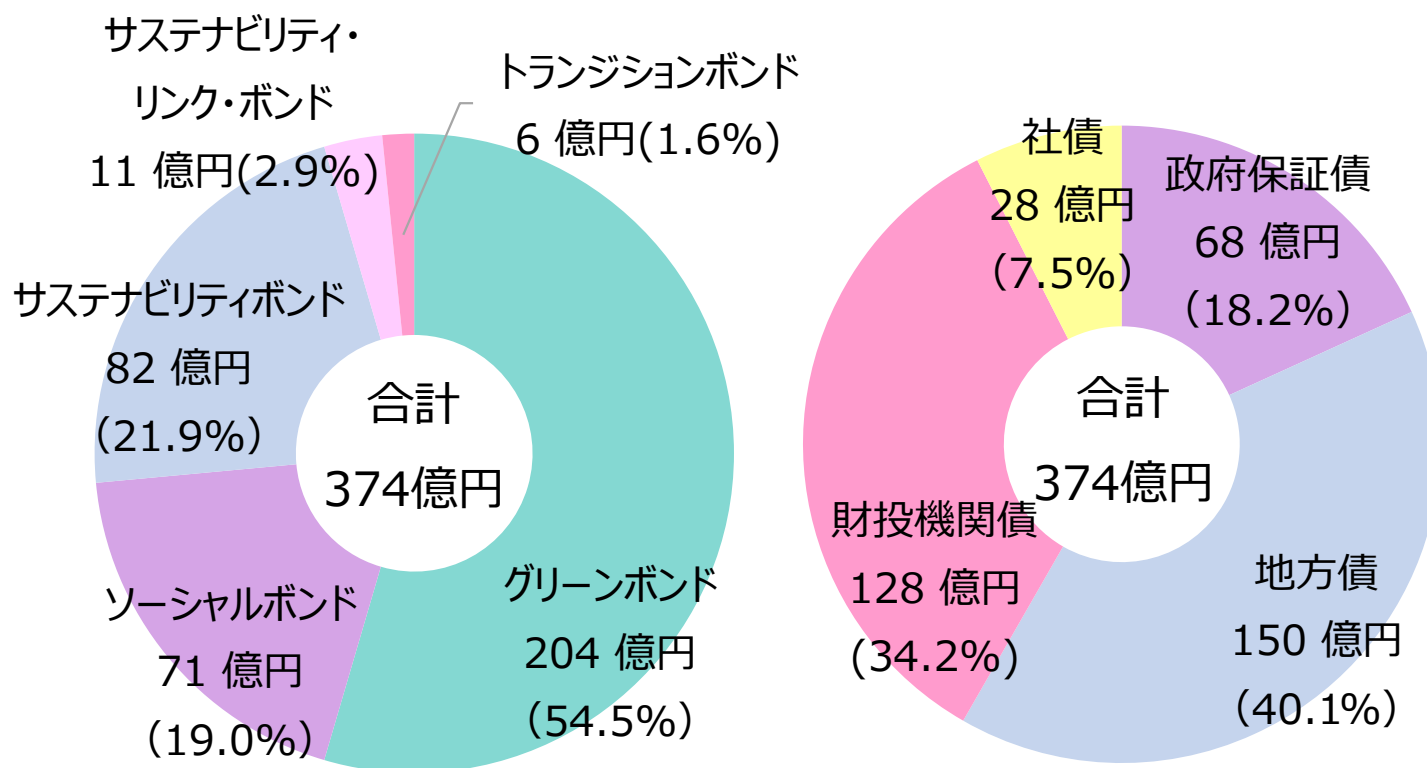
2024年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

2024年度第3Q末時点における保有債券全体に占めるESG債の割合は、4.3%となった。

保有債券全体に占める
ESG債の割合（額面）



ESG債の種別構成（額面）



2024年度第3四半期の運用実績 (3) ESG債の取得

2023年度から2年連続でグリーンボンドを発行した福井県と、10月にエンゲージメントを実施し、複数のメディア※¹ に記事掲載された。また、エンゲージメントの内容をまとめたレポート※² を本財団のWebサイトにて公開した。

対談概要

対談日	2024年10月16日（水）
対談者	・福井県 総務部長 服部 和恵 氏 ・本財団業務執行理事（CFO）大久保 英明
取得したESG債券	①福井県令和5年度第6回公募公債（グリーンボンド） 発行日：2023年10月 ②福井県令和6年度第6回公募公債（グリーンボンド） 発行日：2024年10月
対談内容	福井県が発行した上記債券の資金用途についての確認、及び社会・環境的課題の解決に関するインパクト・レポートの在り方についての意見交換 等



エンゲージメントレポート

自動車リサイクル促進センター
×
福井県

SDGs債
エンゲージメント企画

スピーカー
・自動車リサイクル促進センター 業務執行理事(CFO) 大久保 英明 様
・福井県 総務部長 服部 和恵 様

モデレーター
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
デット・キャピタル・マーケット部長 野村 憲彰

三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2024年11月

三井UFJモルガン・スタンレー証券
促進センター×福井県

本報告書は、2023年度に実施したエンゲージメントの成果をまとめたものです。報告書には、SDGs債の発行状況、エンゲージメントの実施状況、および今後の取り組みについて詳しく記載されています。

SDGs債の発行状況

発行年度	発行額(億円)	発行回数
2023年度	約9,300億円	約1,300回
2024年度	約1,700億円	約200回

SDGs債の発行額は、2023年度から2024年度にかけて、約11,000億円に増加しました。これは、SDGs債の需要が高まっていることを示しています。

エンゲージメントの実施状況

2023年度から2024年度にかけて、SDGs債の発行額が増加しました。これは、SDGs債の需要が高まっていることを示しています。また、エンゲージメントの実施状況も、SDGs債の発行額が増加していることと一致しています。

今後の取り組み

SDGs債の発行額を増加させるために、今後も積極的にエンゲージメントを実施していきます。また、SDGs債の発行額を増加させるために、今後も積極的にエンゲージメントを実施していきます。

※¹ 日刊県民福井など

※² エンゲージメントレポートは資料2をご参照